

I 事業報告書

1 事業概要

令和4年度は、別紙(事業実績総括表)のとおり、公有地取得事業の受託や造成地の処分などとともに、令和3年度に着手した土地造成事業を継続するなど、地域の秩序ある整備に寄与した。

公有地取得事業では、前年度から継続の事業を2千3百万円余で実施したほか、先行取得していた道路用地約2万5千㎡を国が再取得したことにより、7億6千万円余の収益を計上した。

土地造成事業では、第二仙台北部中核工業団地(松の平三丁目地内)の造成工事など、4億7千2百万円余の事業を実施するとともに、造成地の処分では、約6千㎡を売却し、9千5百万円余の収益を計上した。また、土地の賃貸等により6千万円余の収益を計上した。

最終損益は、造成地の処分が計画を下回り、5千2百万円余の赤字となった。

なお、年度末の借入金残高は52億円余となった。

(1) 土地取得等の状況

公有地取得事業では、国の用地国債による先行取得事業である一般国道4号大衡道路の事業を引き続き実施した。

土地造成事業では、令和3年度に着手した第二仙台北部中核工業団地の再造成を進めるとともに、各工業団地の維持・管理業務を実施した。

(2) 土地処分等の状況

公有地取得事業では、先行取得していた一般国道108号古川東バイパス及び同4号大衡道路の用地約2万5千㎡が国に再取得された。

土地造成事業では、第二仙台北部中核工業団地で1件の売却を行った。また、保有土地の有効活用として11件の賃貸等を行った。

あっせん等事業では、日本貨物鉄道株式会社から受託していた仙台貨物ターミナル駅移転事業用地取得業務を実施した。また、宮城県道路公社から仙台松島道路用地調査点検等技術業務を受託しており、委託期間は令和5年度末までとなっている。

2 理事会の開催状況

令和4年5月23日 第100回理事会

令和5年3月22日 第101回理事会

(別紙)

事業実績総括表

1 土地取得等状況

〔単位：㎡・円〕

事業区分	計 画		実 績				増減額(②-①)	摘 要
	当 初	補正後①	面 積	事業費②	内 訳			
					用地費・補償費	工事費・調査費等		
公有地取得事業								
1 公有用地								
2 代行用地	23,400,000	23,466,000	30.25	23,465,487	23,465,487		△ 513	
3 特定土地								
計	23,400,000	23,466,000	30.25	23,465,487	23,465,487	-	△ 513	
土地造成事業								
1 完成土地等	109,600,000	32,052,000		32,051,100		32,051,100	△ 900	
2 開発中土地	695,500,000	551,392,000		440,499,632		440,499,632	△ 110,892,368	
計	805,100,000	583,444,000	-	472,550,732	-	472,550,732	△ 110,893,268	
あっせん等事業 (測量調査業務受託)	-	-		-				
合 計	828,500,000	606,910,000	30.25	496,016,219	23,465,487	472,550,732	△ 110,893,781	

2 土地処分等状況

〔単位：㎡・円〕

事業区分	計 画		実 績				増減額(②-①)	摘 要
	当 初	補正後①	土地処分等			計 ②		
			面 積	土地処分収益	賃貸等収益			
公有地取得事業	760,820,000	760,825,000	25,053.15	760,825,059			760,825,059	59
土地造成事業	1,435,290,000	140,947,000	6,428.86	95,460,971	45,486,000		140,946,971	△29
附帯等事業	14,520,000	14,520,000			14,547,400		14,547,400	27,400
あっせん等事業	-	7,777,000				7,777,000	7,777,000	-
合 計	2,210,630,000	924,069,000	31,482.01	856,286,030	60,033,400	7,777,000	924,096,430	27,430